絵巻の貴公子の方々とご一

動に夢を広げていました。

思っています」と、今後の活

書き残していきたいと

過去のことなども聞き、 すが、戦災や震災など近い 版したいです。私は、一千

みをまとめた合同歌集を出 には、会員のこれまでの歩

年も前の古典文学も好きで

歴史の旅に赴いたような感覚を覚えました

第27回『曲水の宴』歌人

伊藤

イトウ・サチコ 76歳 |中平笠|

昭和21年生まれ。県歌人クラブ 幹事を務め、北宴文学会編集委員 やコスモス短歌会同人などにも名 前を連ねる。また、毎週水曜、盛 岡タイムスでコラム「口ずさむと き」を連載中。血液型B型のうお座

中歌会始の講師、近衛忠大短冊にしたためました。宮 平泉・毛越寺で開催された 氏や坊城俊在氏と共演で 当日の感動を振り返ります。 りがたさを感じました」と、 点の中に、自分が今立って きたことについて、「平安 そのをわが歩みゆく」と、 まろき柱の礎石のみ残るみ 伊藤さんは、「おほてらの ことしの歌題『歩』に対し、 出演。「時と人と風景の接 は約3千人の観客が来場。 いるということのご縁のあ 『曲水の宴』に、歌人として 『曲水の宴』当日、会場に

講師も務めており、

、 10年目

を迎える『八幡平短歌会』の

伊藤さんは、創立7年目

ります。 7の短歌のリズムが心地い 子さん。「5・7・5・7・ ことしで50年になる伊藤幸 いんですよ」と、笑顔で語 伊藤さんは、5月26日に 10代から歌を詠み始め、

緒に、 ばせます。 んでした」と、 こようとは思ってもみませ 浄土庭園を歩む日が 顔をほころ



「曲水の宴」当日の衣装(右 から2人目が伊藤さん)

ついて市が推奨などをするものではありません。



ミックス FSC* C007678